

JCI 公 益 社 団 法 人 南長野青年会議所

Junior Chamber International Minaminagano

Vol.2

2014年度
スローガン

すべては人と地域と未来のために

2014年度 外報紙



2015年度理事予定者紹介

理事長予定者	米山 直樹	君 氏
直前理事長	田村 嘉邦	君 氏
外部監事予定者	久保田 俊行	君 氏
監事予定者	宮尾 一暁	君 氏
副理事長予定者	水口 英徹	君 氏
〃	小林 敏明	君 氏
〃	下城 聖一郎	君 氏
〃	小嶋 浩明	君 氏
会務担当常任理事候補者	小山 和伯	君 氏
〃	月津 洋一	君 氏
専務理事予定者	高橋 淳	君 氏
委員長予定者	片桐 孝章	君 氏
〃	東方 竜也	君 氏
〃	北澤 雅博	君 氏
〃	酒井 総一郎	君 氏
副委員長予定者	松本 章	君 氏
〃	曾根 川宏一	君 氏
〃	久保 廣範	君 氏
〃	佐藤 寛	君 氏
事務局次長予定者	酒井 総一郎	君 氏
事務局次長予定者	佐藤 寛	君 氏
議長予定者	山岸 正道	君 氏
副議長予定者	中村 文陽	君 氏



2015年度理事長予定者 米山 直樹

米山理事長予定者
挨拶

八月二十六日(金)にJ A長野グリーンパレスにて(公社)南長野青年会議所 第二回通常総会を開催いたしました。

本総会では第一号議案から第三号議案までが上程され、全ての議案が全会一致にて無事に可決されました。二〇一五年度理事長予定者に米山直樹君、外部監事予定者に久保田俊行君、監事予定者に宮尾一暁君、そして理事予定者も決まり、いよいよ次年度への第一歩を踏み出すこととなりました。第二部より当会議所の先輩でありますシニア会役員の皆様、来訪J Cをお迎えして、田村理事長より本年度開催された事業のご報告と今後の事業紹介、そして(公社)南長野青年会議所に代々受け継

第二回通常総会

担当 ■ 総務広報委員会

8月26日(金) J A長野グリーンパレス

がれております「黎明の鍵」が田村理事長より米山理事長予定者へと伝達され、米山理事長予定者より次年度へ向けた力強い挨拶を頂きました。結びに、シニア会会長であります水島慎一先輩よりご祝辞を賜りまして第二回通常総会は閉会となりました。

委員長所感

小林 敏明

第二回通常総会とは本年度の事業が展開している中、次年度理事長予定者をはじめ、役員・理事予定者が承認され、次年度に向けて動き出すための一歩となる会です。準備、資料作成、設営、リハーサルと開会に至るまで順風満帆とはいきませんでしたが、本総会に多くのメンバーに出席を頂き、更にシニア会役員の皆様、志を同じうする北信圏域来訪J Cの皆様、田村理事長、米山理事長予定者より本年度、そして次年度の(公社)南長野青年会議所を発信出来たことはとても意義深いものであると感じました。また、総会という独特の緊張感の中で司会進行を務めることができ、また一つ貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。

2014年度
総務広報委員会
委員長
小林 敏明

5月例会

5月13日(火) 割烹ひさこい

みんなで学ぼう！
人間力向上

企画担当 ■ 会員開発委員会

五月十三日(火)に「割烹ひさこい」にて五月例会「みんなで学ぼう！人間力向上」と題し、自己啓発例会として、講師にシニアの西先輩、西村先輩をお招きし開催しました。



西村先輩からは和食時の作法の講演やビジネススマナをクイズ形式で解説していただきました。西先輩からは本物の食材の食べ比べをクイズ形式で行いました。

委員会対抗戦の形式でしたので各委員会とも皆で相談しながら親睦を深めながら学べたと思います。

特に食べ比べで



講師 西先輩

メンバーの出席率も高く、仲間同士の懇親・南長野J Cの素晴らしさや、知識向上など様々な面で意義ある例会になったと思います。

委員長として初の担当例会ということで、何をしたらよいのかと考えました。南長野青年会議所が公益法人格を取得してから、メンバーのスキルアップにつながる例会が少ないな、と感じていました。また、会員拡大系の委員会として、例会に候補者を呼び一緒に学ぼうという思いから、「楽しく和気藹々と交流しながら学べる例会」を目指しました。そのために、やはり多くのメンバーに参加してもらいたいのと思い、一〇〇%例会を目指しましたが、結果、参加率九五・六%と二名の欠席者がでてしまい達成できませんでした。しかし普段欠席しがちなメンバーも参加し楽しく交流できるなど一〇〇%例会を目指す意義は感じることが出来ました。またこの例会を機に三名の候補者が新たな同志となってくれるなど嬉しく感じています。

最後に忙しい中、講師を引き受けてく

2014年度
会員開発委員会
委員長
渡邊 英祐

委員長所感

渡邊 英祐



6月例会

6月1日(日)

南長野運動公園
相撲場

第30回 わんぱく相撲大会

目指せ!! 両国国技館

企画担当 ■ 青少年☆委員会 ■

六月一日(日)に南長野運動公園・相撲場にて、六月例会「第三〇回わんぱく相撲大会」を目指せ!! 両国国技館」を開催いたしました。

三〇年目の節目を迎えた今大会は、北信圏域を中心とした子ども一〇五名の参加がありました。今年も長野篠ノ井ライオンズクラブ様のライオンズクラブ市民フェスティバルと同日開催で当日は大変な賑わいになりました。

ゲストに出羽海部屋様をお呼びしました。高崎親方をはじめ、藤ノ海と藤ノ花の双子の力士に来て頂きました。そして参加した子ども達全員とふ



れ合っていただき、子ども達の記憶に残る大会になったのではないかと感じております。時間面には不安がありましたが概ねスケジュール通りに進みました。

今回、今までご協賛やご協力いただいた関係団体様とは別にスポンサー企業を募り運営させていただきました。また、関係団体様のご協力のもと、団体戦の優勝旗を新しく立派なものにする事が出来ました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

来年から三一年目を迎えますが、引き続き青少年育成活動に邁進していく事をお誓いしてご報告とさせていただきます。



委員長所感

佐藤 寛

本年度は、第三〇回の節目の大会であると同時に主管に戻ってから三年目という年でした。そんな中「わんぱく相撲」に携われた事は、良い経験の場を頂いたと思います。委員会事業から例会事業へと、予期せぬ事も多くありましたが、なんとか事業を終わらす事ができました。

今回、出羽海部屋の力士を呼んだり、ちゃんこ鍋をふるまったりと、大会を盛り上げると同時に参加者を増やす事を考えていました。力士の迫力ある取り組みは相撲の魅力がたっぷりあったと思います。また、子どもたちが力士になれる事で、相撲に興味を持つばかりでなく日本の伝統に興味をもってもらえたらと願っております。

大会の方は毎年の事ではありますが、小学生ながら迫力があつたり、小さい子どもが大きい子どもに勝ったりと、力だけではなく技やスピードで勝ったりと、手に汗にぎる熱戦ばかりでした。

最後になりますが、一月例会に続き話の甘い私を支えてくださいましたメンバーの皆様、そしてご協力やご心配を頂きました各関係団体の皆様に本当に感謝と御礼申し上げ委員長所感とさせていただきます。ありがとうございました。



第30回 わんぱく相撲全国大会

8月2日(土)・3日(日)

東京・両国国技館

企画担当 ■ 青少年☆委員会 ■

第三〇回わんぱく相撲全国大会へ長野場所四年生、五年生、六年生の優勝者三人の子どもを八月二日(土)・八月三日(日)の二日間お預かりし、行ってまいりました。

前日午後よりリハーサルや実技指導などがあり、全国より勝ちあがってきた多くの子どもを目の当りにし、小学生らしからぬ体型が多い事にびっくりいたしました。今回、武蔵川部屋にお世話になりました。武蔵川親方(元武蔵丸)と一緒に食事も出来、良い思い出となりました。

大会当日は、朝時間に追われバタバタしましたが、無事に両国国技館に行く事が出来ました。結果は、四年生四回戦敗退・五年生二回戦敗退・六年生三回戦敗退でした。四回戦を勝ち抜くとベスト一六と言ったところで残念ながら敗退してしまいました。体格的には互角だった、こちらが優位であったりして勝てない相手ではなかっただけに残念です。子どもたちは、勝負の厳しさ、気持ちの大切さを肌で感じたのではないのでしょうか。



二〇一四年度のわんぱく相撲に関する事業が終わりましたが来年に向けて引き継ぐ事はきちんと引き継ぎ、次回に繋がるようにしていく事をお誓いしてご報告とさせていただきます。

委員長所感

佐藤 寛

今回、私自身人生で初めての経験が多くありました。まずは、三人の小学生を引率して行った事。そして両国・国技館に入り観覧した事。また、相撲部屋へ宿泊した事など、青年会議所に入らなければ経験出来ない事ばかりでありました。本当に貴重な経験をさせて頂き、うれしく思います。

練習段階より見せていただきより深く子どもたちと関わられたと感じています。普段はしゃいでいた子どもも試合前は緊張して口数が少なくなったり、弱気になったりしていたのが印象的でした。子どもたちは、勝負の厳しさやほんの少しの気持ちの差が勝敗を分けてしまう事など多くの事を感じとったのではないのでしょうか。この経験を糧に強く育っていくてくれるでしょう。

最後になりますが、次年度から少し形態が変わってしまう事や相撲部屋に泊まる事が出来なくなる事など変わってしまう事があり残念に思いますが、子ども達にとっても私達にとってもわんぱく相撲は貴重な経験をすることは変わりないと思います。今回私に貴重な経験の場を与えてくださったメンバーの皆様、ご参加いただきました皆様に深く感謝と御礼申し上げます。



訪日事業

6月20日(金) ホテル国際21

JCI-KOREA西大邸訪日事業

企画担当 ■ 国際交流委員会

六月十九日(木)～二十日(金)まで、キム インピル会長はじめとするJCI KOREA西大邸メンバー七名を迎えての訪日事業を実施致しました。JCI KOREA西大邸とは三〇年間一度も欠かすことなく相互交流を続けております。今年は西大邸メンバーの希望もあり、一九日は戸倉上山田に宿泊し、日本の温泉を堪能して頂きました。

二〇日は、田村嘉邦理事長の母校でもあり、一校一國運動で韓国と交流をしている通明小学校を訪問致しました。子どもたちが韓国語の歌詞を丸暗記して歌を披露してくれて、また、二年生の子もたちと西大邸メンバーが日本の遊びを一緒に体験しました。

西大邸メンバーも楽しいだけでなく、通明小学校が韓国との国際交流を本気でやっているというのを感じてくれたはずです。子どもたちにとっても、楽しい思い出、良い経験になったと思います。



その後、松代陶苑にて松代焼を体験して頂きました。慣れない作業が大変のようでしたが、地元伝わる工芸を感じて頂けました。完成品は今年一〇月に予定している韓国訪問の際に届ける予定です。

式典では、三〇年前にこの交流の橋渡しをして下さった小出博治様、シニア会長水島慎一先輩をはじめ、シニア会先輩方をお招きし、盛大に開催することができました。アトラクションの篠ノ井大獅子は西大邸メンバーも実際に大獅子の中に入って舞い、そして最後に田村理事長の渾身の舞いも見せて頂き、会場は大いに盛り上がりしました。



三日間を通じ三〇年間の相互交流の意を改めて認識し、更に交流を継続する必要性を感じました。今後も両国の発展を祈り、民間交流の大切さを意識しながら事業を行って参りたいと思います。

委員長所感

高橋 淳

先輩諸兄より三〇年続いているJCI KOREA西大邸との交流。今年、西大邸の会員を迎えるにあたり南長野という地域を意識して計画をいたしました。

その中で、一校一國運動で韓国と交流している通明小学校訪問と訪日歓迎レセプションでの篠ノ井大獅子の舞いを実施できたことはとても嬉しく達成感もありました。通明小学校訪問では西大邸会員と子ども達の交流を見て、通訳の方や我々も涙が出そうでした。篠ノ井大獅子の迫力は、西大邸会員に大きな思い出として残ったと思います。

計画段階から西大邸の担当委員長とメール等でやりとりをしましたが、空港で出迎え、初めて会った時の感動は今でも忘れません。国際交流委員会の委員長にしか味わえない気持ちではないでしょうか。このところ決して良いとは言えない日韓関係ですが、我々はだからこそこの交流を続けていかなければならないと改めて感じました。

最後になりますが、ご協力頂きました皆様に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

7月例会

7月30日(木) 篠ノ井公民館

まちづくりと南長野青年会議所

企画担当 ■ 社会開発委員会

七月三〇日(木)に篠ノ井公民館二階にて社会開発委員会による七月例会「まちづくりと南長野青年会議所」を開催いたしました。

本例会は、二つのテーマによる討論会になりました。一つ目は継続事業として行っている「南長野フェスティバル」、二つ目はスポーツを通じて街作りを行う「AC長野パルセイロ」をテーマとしました。

南長野青年会議所として今後まちづくりにどのように関わっていくかを、メンバー全員で討論し研究する為、他の事業体から講師を招いて参考にするこや講話を聴いた。



てモチベーションを上げるといったものではなく、我々自身が組織を内観し、南長野青年会議所の有り方を導いていくことを目的とした例会です。我々メンバーだけの意見でなく、テーマ毎に外部からの意見を参考としてビデオメッセージを流し、そのビデオメッセージについても意見を述べるものでした。

メンバーからそれぞれのテーマについて、色々な考え方があつたことを全員が知るいい機会になったと思います。例えば「南長野フェスティバル」を企画した想い、そしてそれを継続する努力と苦労が共有化でき、今後の活動において大いに参考になる意見・アイディアを頂きました。

まちづくりと南長野青



委員長所感

中島 功雄

今回、七月例会を計画するにあたって、三月例会を終え報告書を作成中に、来年度以降も今年と同じように外部協力者と関係を保ちたい行けるのだろうかと考えました。外部協力者と一緒に事業が成功すれば、当然次回も期待されます。もし事業が続かなければ折角築いた関係も途絶えてしまう。そう考えた時、外部協力者を巻き込んで事業を行うことは、継続することを意識する必要があると感じました。

さらに本例会は、結論を出さない例会としました。それは例会時の趣旨説明で「継続事業として行っている南長野フェスティバルについては是非を決める場であれば、他の人々の考えを変えさせることや議論に「勝つ」ことに焦点を当てることが多すぎる。特にメンバーの皆さんは信念と自信に満ち溢れている方々ばかりで、信頼感や頼りがいがあり非常に良い面が見られます。反面、私も含め、人は自分の考えの正しさを証明することに集中するあまり、他の視点について学ぶ機会を逃してしまう。だから結論を求めたのではなく、対話をしましよう」と述べました。例会の終盤に差し掛かり、活発に意見が出始めましたが、もっと参加者からの積極的な意見が出るように、司会進行を勉強しなければと反省しました。

平日の夜という忙しい中、集まって頂いた皆さん、そして委員メンバーにこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

8月例会

8月8日(金)～10日(日)

長野市大岡地区
長野市大岡文化センター

夏の民泊体験ツアー

企画担当 ■ 青少年☆委員会

八月八日(金)～八月一〇日

(但)の二泊三日という日程で
大岡の地にて、八月例会
「夏の民泊体験ツアー」を
開催いたしました。事前申込み開始より二日
間という短い時間で定員二
五名に達してしまい参加希
望の方に迷惑をおかけし
ました事をこの場を借りて
お詫び申し上げます。一日目より天候が良くな
く自然散策も予定より短い
時間での散策となってしまう
見ましたが、いろいろな発
見がありました。また、雨
天時予定していた太鼓体験
もする事が出来ました。そ
して各六箇所の民家さん宅
に分かれ、それぞれの民家
体験をしました。子ども全
員が集まったの花火大会は
残念ながら出来ませんでし
た。

二日目も天候が良くな

く、民家さんも予定の農業
体験が出来なく苦労したと
思います。芦ノ尻道祖神に
は子ども全員で見学にい
きました。本物を見ると同
時に成立ち等のお話を聞く
事が出来ました。また、ス
イカ割り大会を行い、大岡
の子どもも参加して頂きま
した。三日目は食文化体験という事で、う
どんやおき作りをしました。とても
美味しくできたので何回もおかわりす
る子どもがいっぱい。思い出となる様
に記念樹も植えましたので大岡に行っ
た際は立ち寄ってほしいです。
三日間を通して、台風の影響で雨に見
舞われる残念な天候でしたが、子ども
たちに病やケガ無く、良い経験の場
を与える事が出来たという事をもって
ご報告させていただきます。

長野県各地青年会議所周年事業

本年は、長野県域 L
OM 周年事業の当たり
年と言われ、長野県 18
LOM 中 6 LOM の周
年事業が行われまし
た。

五月二十四日(日)には、
毎年、(公社)南長野青
年会議所と交流のあり
ます(一社)長野青年会
議所の四五周年事業が
開催されました。

六月一四日(土)には、
(一社)小諸青年会議
所の五〇周年事業が開

委員長所感

佐藤 寛

今回は、キャンプより少し趣向をかえ、
民泊体験という事で他団体のご協力をい
ただき新たな試みをしてみました。台風
直撃という天候になつてしまて、非常に
残念でした。私の思い描いていた農業体験
と大岡の魅力を伝える事があまり出来な
かったのではないかと感じておりました。
そんな中、子どもたちはいつもでも元気で、
ひとりひとりが強く輝く星のようでした。
知らない子ども同士あつまる事は非日常
で、二泊三日という時間のなかでどんな体
験であっても、子どもたちの成長の糧とし
て多くの経験をさせてくれたのではない
いかと感じました。私も子どもたちと共
に行動し、共に成長できたと感じておりま
す。「また参加したい」という声を聞きた
びにこういった事業を続けていけば、いず
れ参加した子どもが楽しかった思い出を
胸に、地域に貢献してくれと確信してい
ります。

最後になりますが、準備から最後まで、
ご協力いただきましたすべてのメンバー
の皆様には大変感謝申し上げますと共に、私を
支えてくださった、委員メンバーの皆様
に大変感謝申し上げます、委員長所感とさせて
頂きます。ありがとうございました。

編集後記

第二回通常総会が開催され、米山理事長
予定者をはじめとする次年度の体制が決ま
りました。

青年会議所は一年で役員が交代するた
め、大半のメンバーは、今年度事業を執行
しながら、何を理想とし、何を行うのか、
必死になって次の一年間に思いを巡らせて
いることでしょう。一方、現執行部は、昨
年の今頃、何を考え、何を伝えようとし
たのか、残り三か月で終わりをむかえよう
としている今、振り返りの時が近づいてい
ます。

二〇一四年度スローガン

「すべては人と地域と未来のために」
田村嘉邦船長とその仲間たちの一年間、
さあラストスパート!!

総務広報委員会 小林 雅希

会員募集!!

南長野青年会議所は、新しい仲間を募集しております!

今しか会えない仲間がいる。今しかできないことがある。

お問い合わせ先

(公社)南長野青年会議所事務局

☎026-292-2310



公益社団法人 南長野青年会議所

〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1

TEL : 026-292-2310 FAX : 026-293-5709

E-mail : minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

発行元：総務広報委員会

編集長：小林 雅希

印刷所：有限会社サクセス

ホームページ更新中!
是非ご覧下さい!!

南長野青年会議所

検索

かがり火のバックナンバーはホームページでご覧ください。